

がん療養者とその家族への支援に関する研究

看護学科（成人看護学）

長谷部 美紀

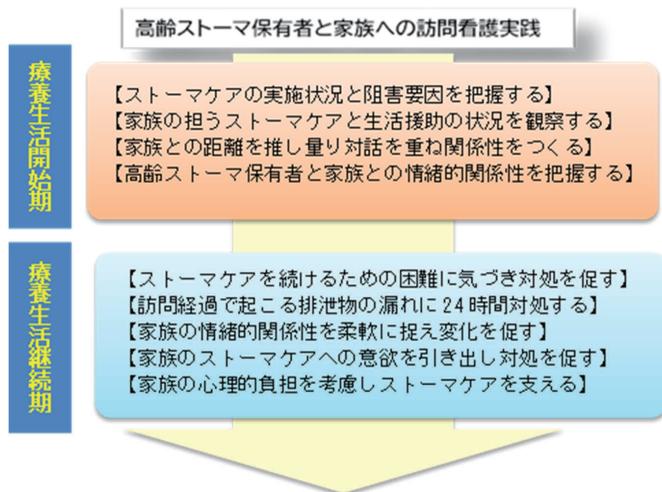
●連絡先 TEL：054-202-2942
E-Mail：m.hasebe@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

がん, 療養生活, 家族支援



日本では悪性新生物（以下がん）の罹患者数が年々増加し、一生のうち2人に1人が罹患すると推定されています。一方、治療の進歩によりがんの5年相対生存率は64%と上昇傾向にあり、高齢化を背景に手術を受ける高齢者が増えています。高齢者の手術に伴う問題のひとつに、大腸がんで人工肛門（以下ストーマ）造設後のストーマ自己管理に対する困難があります。高齢者がストーマをもつ生活に順応するためには家族の支援が重要ですが、家族も身体的・心理的・社会的な負担を抱えています。そこでストーマ造設後の高齢者とその家族が、生活へ順応していく過程での訪問看護師の支援に関する研究に取り組み、看護実践への示唆が得られました。現在は社会や家庭内の中心的役割を担う壮年期のがん療養者とその家族への支援に関する研究に取り組んでいます。



長谷部美紀, 富安眞理：高齢ストーマ保有者とその家族の療養生活への順応過程を支える訪問看護実践. 日本在宅ケア学会誌, 26(1):111-119 (2022) より著者作成

アピールポイント

がん療養者とその家族への支援に関する研究に取り組んでいます。